

**○リスクコミュニケーションの実施状況に関するアンケート調査結果
(平成31年1月実施)**

1. 回答の状況

振興局	配布数	回答数	回収率(%)
県北	148	68	45.9
県中	161	76	47.2
県南	87	43	49.4
会津	63	27	42.9
南会津	11	4	36.4
相双	55	34	61.8
いわき	113	63	55.8
計	638	315	49.4

2. 回答の内容

〔設問1〕

Q1 貴事業所では、リスクコミュニケーションの推進や地域との信頼関係の構築、地域への貢献等に関して、どのようなことを実施しましたか？または、実施を検討していますか？(複数回答可)

314		(下段は割合を示す。)			
	実施済み	実施検討中	実施を検討していない	未回答	計
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	143 (45.5%)	50 (15.9%)	117 (37.3%)	4 (1.3%)	314 (100.0%)
2 勉強会、研修会の開催	137 (43.6%)	61 (19.4%)	113 (36.0%)	3 (1.0%)	314 (100.0%)
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	57 (18.2%)	26 (8.3%)	228 (72.6%)	3 (1.0%)	314 (100.0%)
4 工場見学会の実施	116 (36.9%)	35 (11.1%)	161 (51.3%)	2 (0.6%)	314 (100.0%)
5 地域と連携した防災訓練の実施	36 (11.5%)	37 (11.8%)	238 (75.8%)	3 (1.0%)	314 (100.0%)
6 地域への説明会の実施	29 (9.2%)	25 (8.0%)	258 (82.2%)	2 (0.6%)	314 (100.0%)
7 地域の方々への個別訪問	37 (11.8%)	14 (4.5%)	259 (82.5%)	4 (1.3%)	314 (100.0%)
8 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	179 (57.0%)	31 (9.9%)	102 (32.5%)	2 (0.6%)	314 (100.0%)
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等についての説明(会の設営、主催は地域の方々)	40 (12.7%)	22 (7.0%)	246 (78.3%)	6 (1.9%)	314 (100.0%)
10 地域の方々との懇談会、懇親会等(会の設営、主催は地域の方々)	68 (21.7%)	19 (6.1%)	224 (71.3%)	3 (1.0%)	314 (100.0%)
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、出前講座等	37 (11.8%)	26 (8.3%)	248 (79.0%)	3 (1.0%)	314 (100.0%)
12 環境報告書の作成(本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい)	160 (51.0%)	29 (9.2%)	117 (37.3%)	8 (2.5%)	314 (100.0%)
13 広報誌等の作成、配布	41 (13.1%)	13 (4.1%)	257 (81.8%)	3 (1.0%)	314 (100.0%)
14 化学物質情報(種類、排出量等)の開示	149 (47.5%)	35 (11.1%)	128 (40.8%)	2 (0.6%)	314 (100.0%)
15 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定	215 (68.5%)	22 (7.0%)	72 (22.9%)	5 (1.6%)	314 (100.0%)
16 その他	10 (3.2%)	3 (1.0%)	71 (22.6%)	230 (73.2%)	314 (100.0%)

(その他記述)

ISO14001取得による活動
小学生対象の工場見学、中高生対象のインターンシップ
会津ブランドものづくりフェア出展、桜の苗植樹26本
地域行事等に会社の駐車場の提供
環境モニターとの懇談会(主催は弊社)

Q2-1 Q1の設問で「実施している」が1つ以上あった事業所にお尋ねします。
リスクコミュニケーション等への取組を実施する理由は何ですか。(複数回答可)

回答事業者数 279

	選択事業者数	回答事業者数に対する割合(%)
1 企業としての社会的責任のため	239	85.7%
2 企業イメージを向上させるため	94	33.7%
3 住民等からの要請があったため	9	3.2%
4 住民等と良好な関係を築くため	103	36.9%
5 過去に住民等とのトラブルまたは事故があり、その対応のため	7	2.5%
6 環境保全、リスク管理等の社員教育のため	129	46.2%
7 行政から指示があったため	30	10.8%
8 本社、関連会社等の方針	112	40.1%
9 その他	8	2.9%

(その他記述)

近隣小学校より要請があった為
ISO関連、法規制
少しずつ地域工業との連携と協業を進めたいと考えた為です。
使用薬剤による安全性の確認把握のため
工業団地としての共同取組み
環境法令上必要な為
法律上のための測定
法規制

Q2-2 Q1の設定で「実施している」が1つもない事業所にお尋ねします。リスクコミュニケーション等への取組を実施しない理由は何ですか。(複数回答可)

回答事業者数 34

	選択事業者数	回答事業者数に対する割合(%)
1 コストがかかるため	7	20.6%
2 人手がないため	19	55.9%
3 地域とのつながりが少ないため	9	26.5%
4 リスクコミュニケーションを実施する知識、スキルがないため	8	23.5%
5 必要性を感じられないため	9	26.5%
6 その他	6	17.6%

(その他記述)

家族経営による個人のクリーニング店のため
化学物質で影響あるものは使用しておりません
規制対象の化学物質が多くなく、周辺へのリスクも低い
取扱い量が少量の為
工業団地の為、地域住民との接点が無い。
PRTRの提出等による情報の開示を行っている為

Q3 リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施しやすくなると思いますか。(複数回答可)

回答事業者数 294

	選択事業者数	回答事業者数に対する割合(%)
1 リスコミ実施のガイドライン、マニュアル	189	64.3%
2 リスコミ実施事例の紹介	189	64.3%
3 リスコミについての講習会、講演会	104	35.4%
4 専門家(アドバイザー)の派遣	31	10.5%
5 行政の助言、仲介	48	16.3%
6 行政による場の提供	32	10.9%
7 その他	10	3.4%

(その他記述)

経営者の判断・指示
人的資源と活動経費(人を増員しないといけない)
住民等からの要望?
助成金等
社内的なこと(人員等)
専門人員が配置できるための、資金(人件費)の補助
薬品の簡単な処分方法

Q4 リスクコミュニケーション、化学物質排出、環境活動、CSR等について、興味があること、知りたいことセミナー等でテーマにしてほしいことがありましたら、記入して下さい。

回答事業者数 21

福島市近隣で実施しているボランティア活動
化学物質による健康被害、生態系への影響
リスコミの好事例を知りたい。
化学物質リスクアセスメント
ネット等で調べる事が出来るので特にありません。
製品含有化学物質管理
環境活動
他社の活動事例の紹介
世界の動向、日本や福島県の取りくみと関連令等
chemSHERPAの判りやすい解説
環境事故等の具体的解決方法、実施例
各企業における具体的な化学物質管理手法
科学物質R/A等 抽出方法
混合物の取扱いや管理について
少量の取り扱っている化学物質のリスクのやり方。
同業他社など取組み事例の共有化
セミナー等でのテーマ:リスクコミュニケーション:環境活動

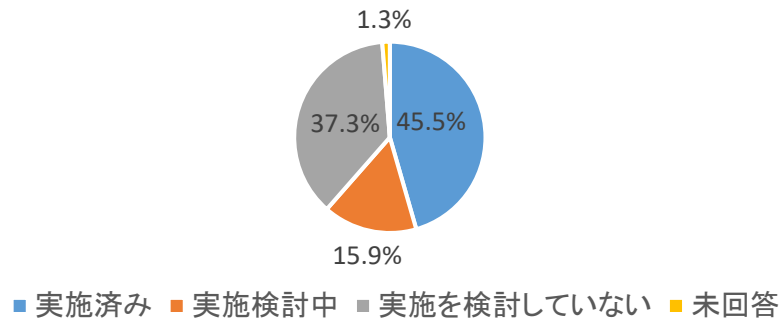
セミナーは必要ないです。清掃活動の数を増やす等、活動をもっと増やして欲しいです。使用する、化学物質はほぼ決まっております。企業として参加するのであれば、環境保護活動であるとか、仕事以外の活動の方が良いです。

リスクコミュニケーション、化学物質の排出について

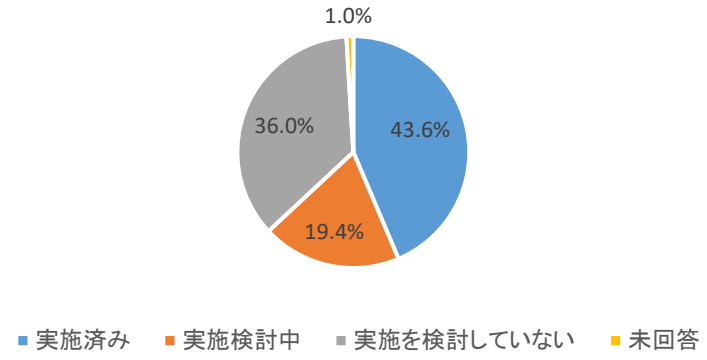
インターネットを利用した勉強会。時間や工数はない時は、会社で出来る為。(出張しなくて済む)

数年前より、環境認証(KES)を取得しておりますが、環境への取り組み、CR等で、中小企業でも目標として取り入れられるような、ヒントとなるようなものがあればいいと思います。

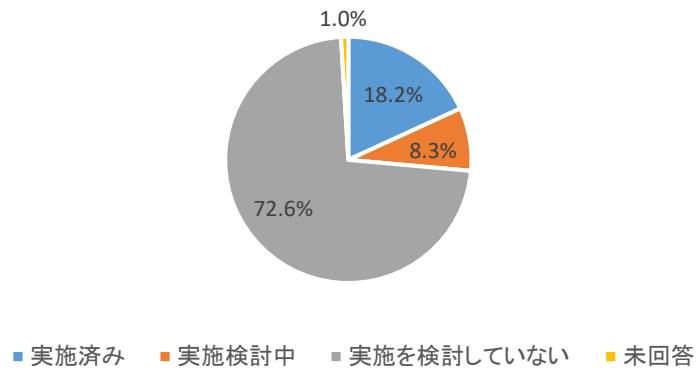
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する
担当部門の設置



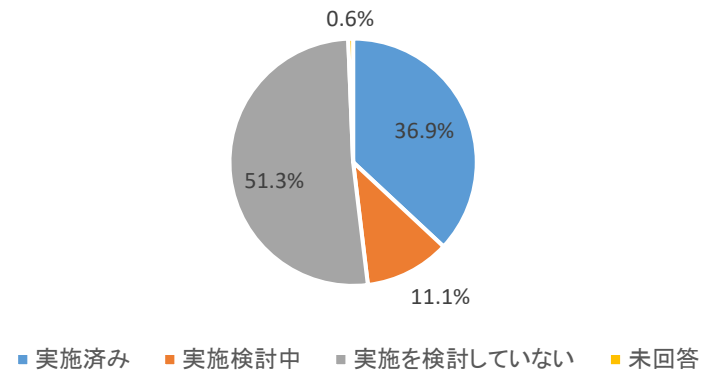
2 勉強会、研修会の開催



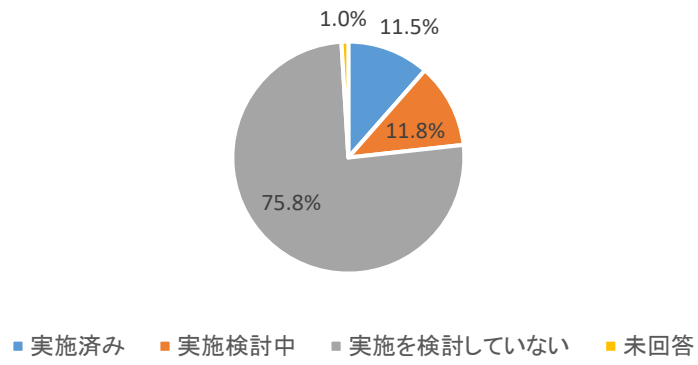
3 夏祭り、子供祭り等の催事の実施



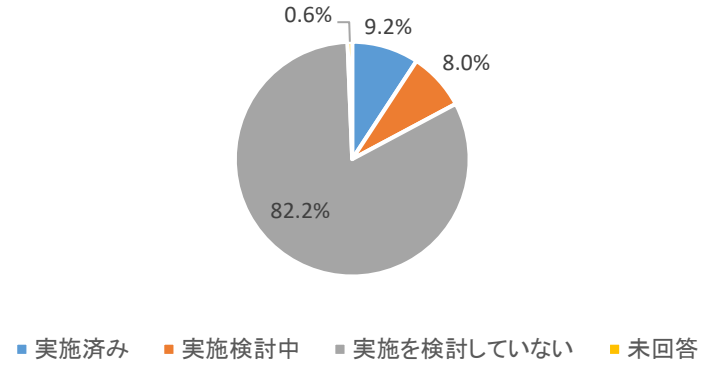
4 工場見学会の実施



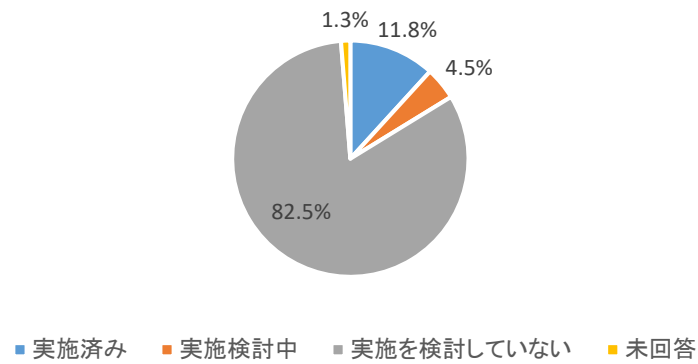
5 地域と連携した防災訓練の実施



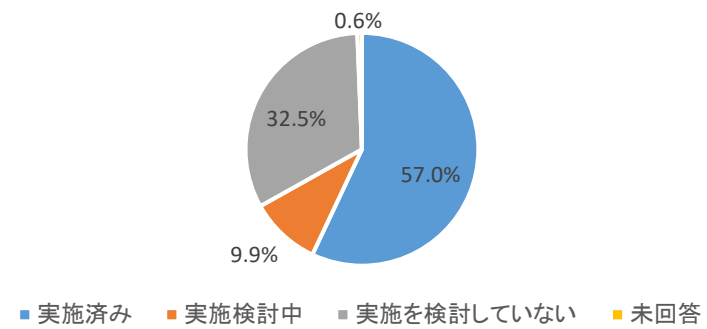
6 地域への説明会の実施



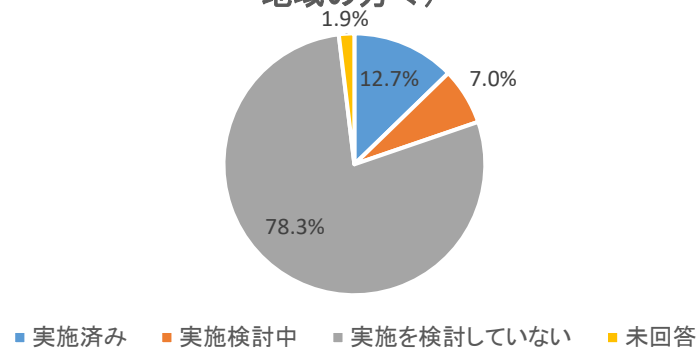
7 地域の方々への個別訪問



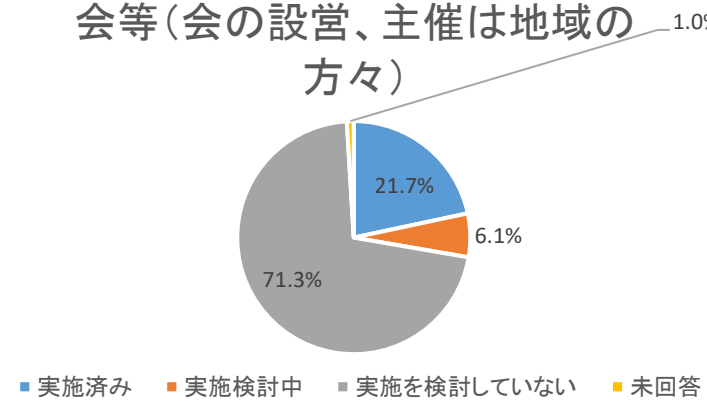
8 地域の清掃活動、環境保全活動への
参加



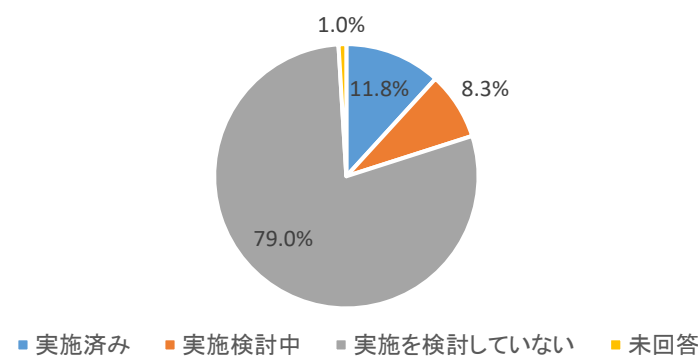
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、
環境対策等についての説明会(会の設営、主催は
地域の方々)



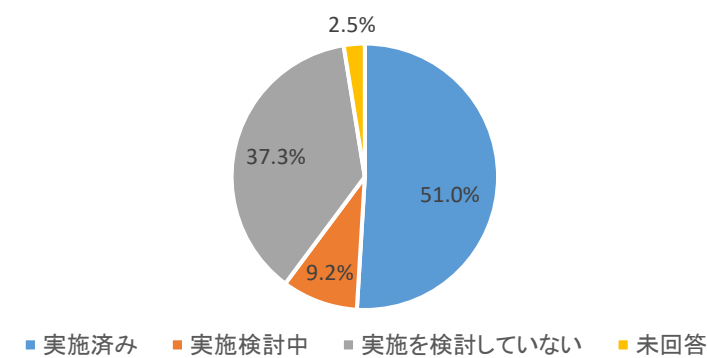
10 地域の方々との懇談会、懇親
会等(会の設営、主催は地域の
の方々)

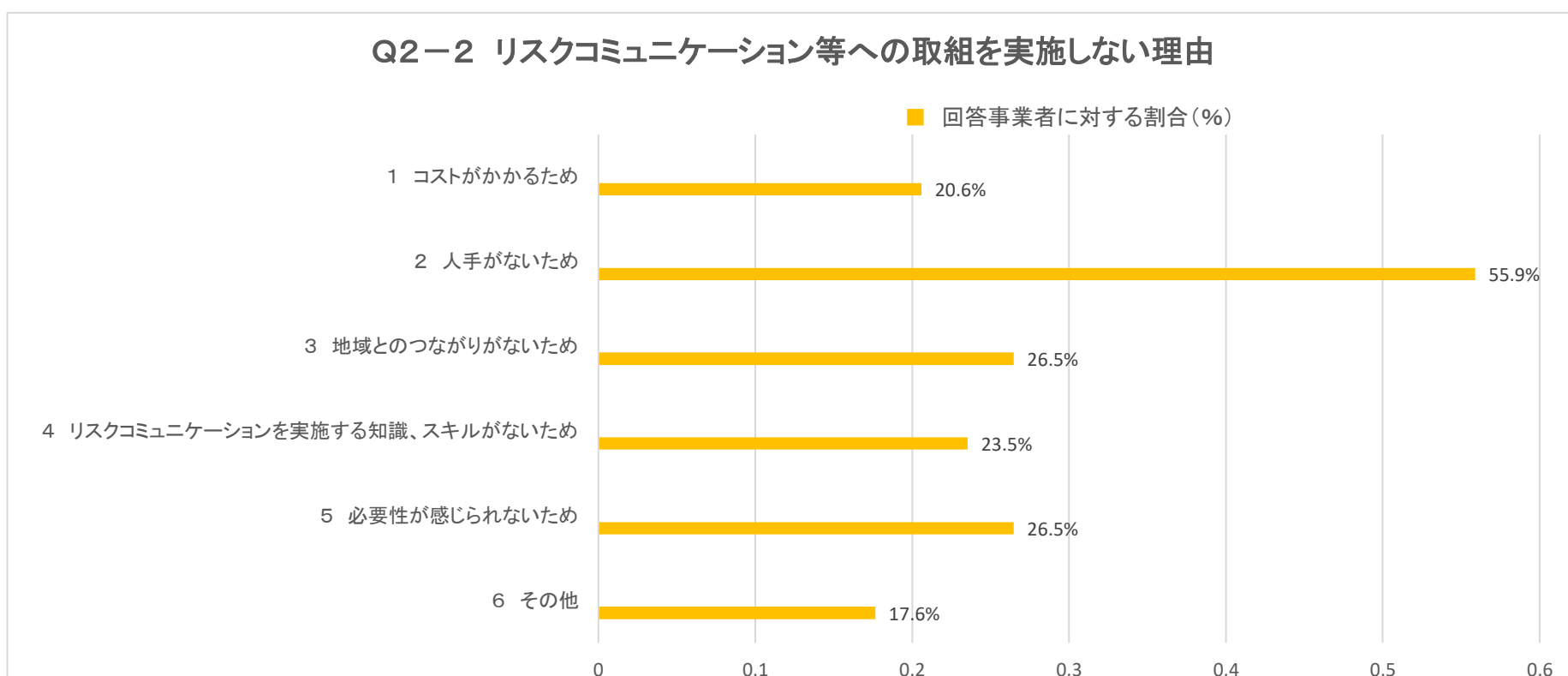
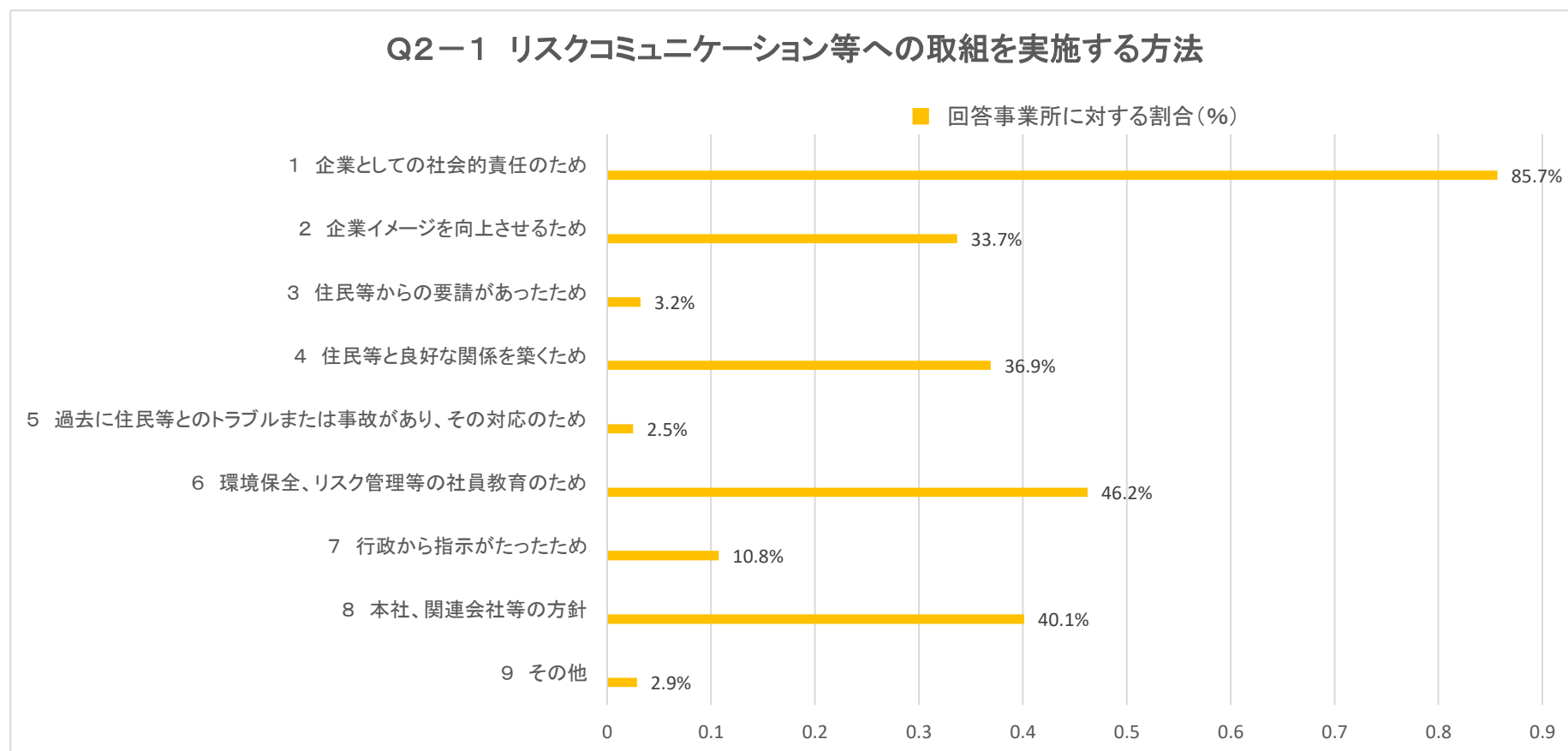
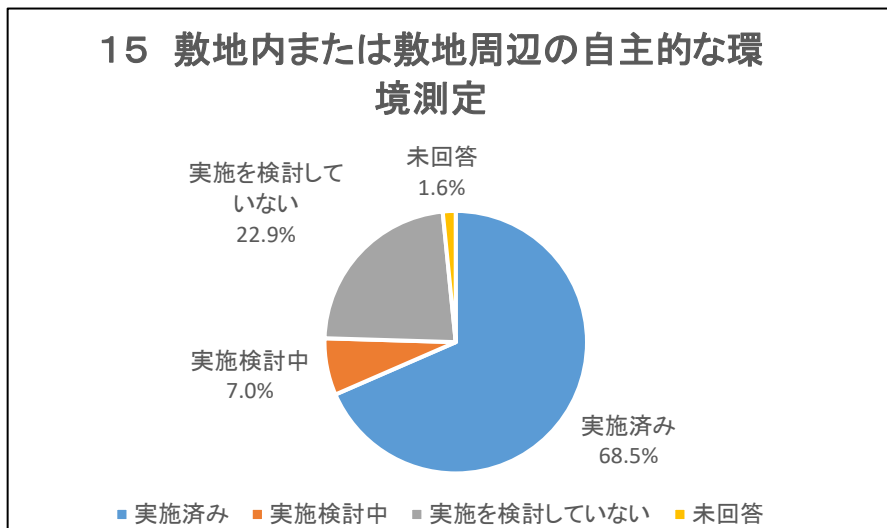
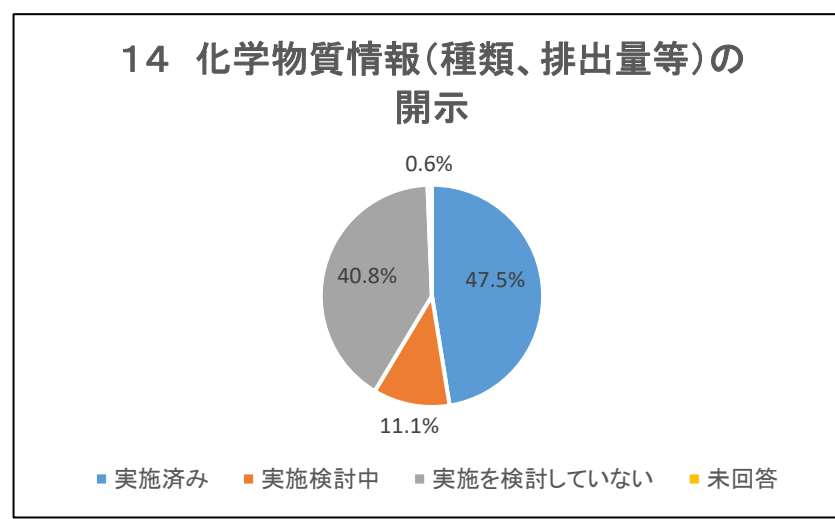
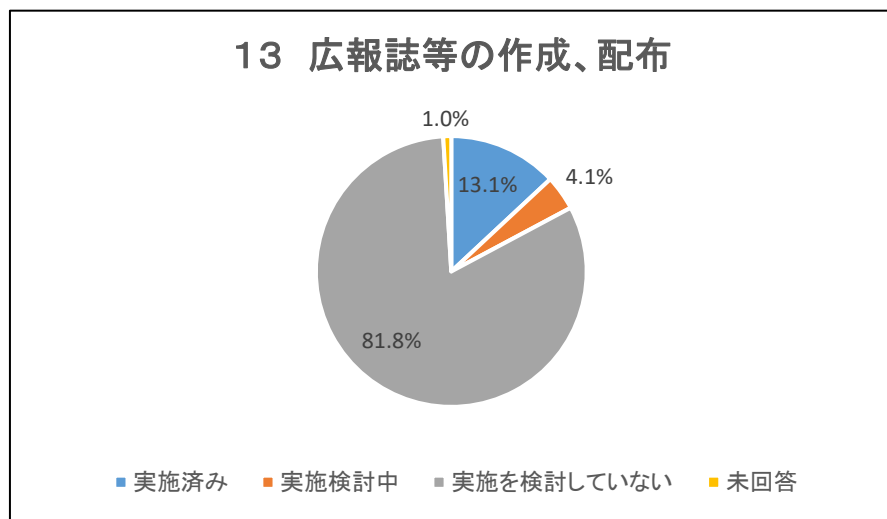


11 小・中学生等を対象とした実験等の催
し、出前講座等



12 環境報告書の作成(本社での作成、親会社
での作成、自事業所での作成のいずれでもよい)





Q3 リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施者すくなくとも思いますか。

